

令和３年度小松市立安宅小学校 学校評価 2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・８月提出）	取組の成果と課題（年度末・３月提出）
生徒指導	<自治的活動の充実を図り、児童の自己指導能力を高める>		
	・運営委員会を中心に児童主体の取り組みを計画的に実践する。 ・学級力アンケートを学期ごとに実施し、学級ごとに成果と課題について話し合い、児童の自治能力を高める。 ・児童相互に認め合う時間「あったかタイム」を児童の発達の段階に合わせて毎日、毎月、学期、行事ごと等、行い方や内容を工夫して実施し、児童の自己肯定感を高める。 ・あったかの松の企画を年間を通して実施し、校内放送などを利用し、よさを共有しながら児童の自己肯定感を高める。		
特別支援教育	<要支援児童への支援体制の充実を図り、児童の自己存在感を高める>		
	・組織的に保護者や関係機関と連携しながら、児童の特性に応じた支援を図る。 ・配慮が必要な児童の実態把握に努め、実態に応じた具体的な支援・手立てを検討し、定期的に検証と改善に取り組む。 ・支援員や学習サポーター、心の相談員等の特質を生かした支援体制を構築し、授業者や児童のニーズに応じながら、効果的な支援を図る。		
道徳教育	<道徳科の授業の充実を図り、主体的に聴き合う子・伝え合う子の育成に努める>		
	・ねらいとする道徳的価値に迫るため、「授業構想シート」を活用する。 ・各学級で児童と共に「授業言葉」を積み上げたり、「聴き方名人」「話し方名人」を活用したりし、児童が主体的に伝え合い、ねらいに迫る授業展開に努める。 ・要請訪問、校内研修会を計画的に実施し、教員の指導力向上を図る。		
読書教育	<発達段階に応じて、瞳を輝かせて読めるような本を紹介し、児童の読書の量と質を高める>		
	・「おすすめ図書」において、各学年に応じた目標冊数を設定し、読み聞かせや紹介をして読む意欲を高める。 ・いしかわ学校・こまつ市民読書の日に合わせて、各学期に一回ファミリー読書期間を設け、家族ぐるみの読書を推進する。 ・図書ボランティアを中心にした読み聞かせにより、本に親しむ機会を作る。		
キャリア教育	<児童が自ら主体的に判断し、キャリアを形成していく力を高める>		
	・係活動や委員会活動で、児童が自らの役割を果たそうと進んで行動したり、助け合ってやり遂げようとしたりする姿等を積極的に認める。 ・活動後の振り返りで、児童が互いの望ましい行動を認め合う場面を設定し、キャリアパスポートに成果を記録していく。		
保健・健康教育	<健康に関心を持ち、自ら生活改善しようとする意識を高める>		
	・朝食の大切さ、睡眠の必要性の理解度と自己の生活を振り返るアンケートを行い、お便りに調査結果を載せ、啓発を図る。 ・学級担任・養護教諭・栄養教諭とが連携し、学級活動等の時間を利用して望ましい生活習慣の指導をする。 ・児童委員会を活用して、生活習慣に関するミニ健康指導を計画的に実施する。 ・学校保健委員会で「メディアと生活習慣」をテーマとし、親子で生活を見直す機会を設ける。 ・「体力アップ１校１プラン」で「スポチャレ８の字」や「リズム縄跳び検定」などに取り組み、運動を持続する力の向上を目指す。		
情報教育	(自己の課題解決に向けて、情報を効果的に活用し実践する力を高める)		
	・GIGAスクール構想年間計画に基づき、計画的に研修を実施する。 ・ICT機器を各教科等のねらいに応じて、授業で効果的に活用する。		
家庭・地域社会との連携	<地域・保護者から信頼される学校・効果的な連携>		
	・各種便りやＨＰ、安宅っ子メール等を定期的に発行・発信し、保護者や地域に適切な情報を公開・提供する。 ①安全対策として、感染予防・災害や熱中症・不審者等、緊急時に、情報を発信し、保護者や地域と共有する。 ②メディア対策として、状況に応じて安宅校下青少年健全育成協議会やＰＴＡ、中学校と連携し、親子でメディアとの付き合い方について考える機会を設ける。		

学校関係者評価	
---------	--